

ハチの巣にご注意を！

例年、7月から10月にかけて、ハチの巣を見かけることが多くなります。ハチの種類によっては、高い攻撃性を持ちますので、適切な対処で事故を防止しましょう。各区福祉保健センター生活衛生課では、ハチの巣に関するご相談をお受けしています。

1 巣の主な特徴



スズメバチの巣

- 巣の形がボール型
- 下から見ると巣への入り口の穴がひとつある。
- マーブル模様の外被

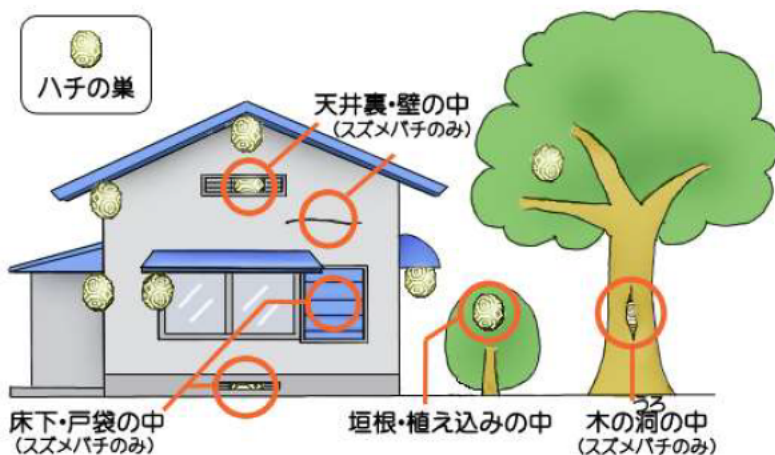


アシナガバチの巣

- 巣の形がはすの実を逆さにした様
- 下から見ると巣穴がたくさんある。
- ハチがたくさんついていることや、白い綿の様なものが見える。

2 巣を作られやすい場所

巣が大きくなる前（春から夏前にかけて）に巣を作られやすい場所を確認し、小さいうちに駆除しましょう。



3 ハチの巣を見つけたら

ハチの巣を見つけたら、

① 近づかない

② 揺らさない

③ 騒がない

ハチを刺激すると刺される危険性があります。静かにそっと離れましょう。



これはハチの巣ではなくミツバチの分封^{ぶんぽう}といひます。定住しないことがほとんどですので、しばらく様子を見ましょう。

4 刺されたときの対処法

- 傷口を水洗いした後、冷やします。
- 手で毒液を絞りだします。※口で吸い出してはいけません。
- 患部に虫刺され薬（抗ヒスタミン等含有外用剤）を塗り、速やかに医療機関を受診しましょう。

このような症状は要注意！

ハチ毒アレルギーは極めて短時間（早い時は数分）のうちに、寒気、じんましん、嘔吐のほか、呼吸困難、意識障害などのショック症状を起こします。少しでも体調がおかしいと思ったら速やかに医療機関を受診してください。



5 ハチの巣を駆除したい

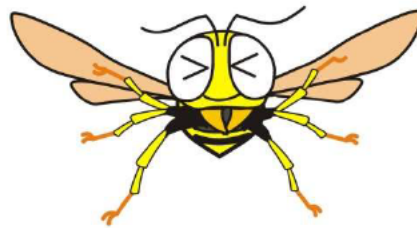
横浜市はハチの巣の駆除は行っていませんが、スズメバチやアシナガバチなどに関するご相談をお受けしています。また、ご自身で駆除をされる場合は防護服等の貸し出し*を行っています。

自主駆除を希望される方へ

スズメバチは攻撃性が高く非常に危険ですので、無理にご自分で駆除をしようとせず、専門駆除業者に依頼することをおすすめします。



※ 防護服等の貸し出し状況によっては、すぐにご用意できない場合がありますので、あらかじめ下記までご連絡ください。



詳しくはお住まいの区の福祉保健センター生活衛生課までご相談ください。

■ 各福祉保健センター生活衛生課 連絡先 ■

区	電話番号	FAX 番号	区	電話番号	FAX 番号	区	電話番号	FAX 番号
鶴見	510-1845	510-1718	保土ヶ谷	334-6363	333-6309	青葉	978-2465	978-2423
神奈川	411-7143	411-7039	旭	954-6168	952-1504	都筑	948-2358	948-2388
西	320-8444	320-2907	磯子	750-2452	750-2548	戸塚	866-8476	866-2513
中	224-8339	681-9323	金沢	788-7873	784-4600	栄	894-6967	895-1759
南	341-1192	341-1189	港北	540-2373	540-2342	泉	800-2452	800-2516
港南	847-8445	846-5981	緑	930-2368	930-2367	瀬谷	367-5752	367-2843

発行：横浜市 健康福祉局 生活衛生課 (Tel.045-671-2456/Fax045-641-6074) 令和4年6月